

(別紙4(2))

事業所名 愛の家グループホーム浜松富塚

## 目標達成計画

作成日: 令和7年 12月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	3つの介護理念が実際に日常業務で生かされているか見直しができていません。3つの介護理念の意識付けを全職員に浸透させるにはどうすれば良いかが課題です。	全職員に3つの介護理念を意識付けして、日常の業務に活かしていきます。	①3つの介護理念を日によって小分けに唱和します。 ②介護理念骨子の説明をもう一度動画を見ながら研修していきます。 ③朝礼の中で個別に介護理念に沿った目標を発表する機会をつくり、時には発表の場を設けていきます。	12ヶ月
2	20(8)	ご入居様がこれまで大切にしてきた馴染みや場所を職員が把握できていません。	各ご入居者様の馴染みの場所を1つ以上職員がつかんでいきます。	①ご入居者様との会話を増やしていきます。 ②慣れ親しんだ場所にご入居者様をお連れします。 ③生活歴を情報共有していきます。	12ヶ月
3	26(10)	介護計画作成時一部の職員だけの意見による事が多く、特にケアの在り方はもっと話し合いが必要です。	現状に即した介護計画書を作成していきます。	①ユニット会議をケアプランに添った内容にしていき、問題提起、見直しを図っていきます。 ②介護支援専門員が現場に入る事で計画作成のヒントを掴むきっかけにいきます。 ③ご家族との会話を今よりも増やしていきます。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。